

産業廃棄物処理計画書

2020年 6月 3日

船橋市長 殿



提出者

住所 東京都中央区新川1-17-22

氏名 松井建設(株)東京支店

取締役専務執行役員支店長 小林 明

電話番号 03-3553-1172

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他、その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松井建設(株)東京支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-17-22
計画期間	2021/4/1~2022/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	47,000百万円
③ 従業員数	360人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥⇒脱水⇒改良土、流動化処理土として利用 ・廃プラスチック⇒破砕⇒リサイクル売却 ・金属屑⇒破砕⇒リサイクル売却 ・がれき類⇒破砕⇒再生砕石として利用 ・ガラス陶磁器⇒破砕⇒人工石材、ガラスにリサイクル ・木屑⇒破砕⇒チップとして再生利用 ・紙屑⇒破砕圧縮梱包⇒リサイクル売却 ・繊維屑⇒破砕圧縮梱包⇒燃料として売却 ・石膏ボード⇒破砕⇒セメント材料、地盤改良材として利用 ・アスコン⇒破砕、熱処理⇒アスファルト合材としてリサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒ 各作業所			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	1850.6 t	t
	(これまでに実施した取組) 年間排出量の目標を決め、各作業所には総排出量/完工高（億）で目標を設定しています。目標を達成する為の取組みとして梱包材の簡素化や資材の転用率を上げ発生材の再利用率を高めて総排出量の削減をめざしていましたが、2020年度の目標38m3/億のところ、実績が39.90m3/億となりました。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	1850.6 t	t
	(今後実施する予定の取組) 2021年度年間排出量の目標は38m3/億とする。本年度も排出量の削減の取組みとして昨年に引き続き梱包材の簡素化や資材の転用率を上げ発生材の再利用率を高めて総排出量を削減していきます。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・廃プラスチック・金属屑・廃石膏ボード・木屑・紙屑・繊維屑等の分別を徹底した。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別看板掲示や各作業員への環境教育を徹底し現状の分別を継続する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	1850.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1850.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 独自の委託基準を設け委託可能な処理業者を選定する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	1850.6 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用者への 処理委託量	1850.6 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>委託した処分場の現地確認を年1回以上実施し、再利用業者もしくは優良認定業者を選定していきます。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
	① 現状	【前年度（2020年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	ガラス・コン陶磁器屑	木屑
		排出量	1600.0 t	6.4 t	1.2 t	60.0 t
		(これまでに実施した取組)				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	ガラス・コン陶磁器屑	木屑
		排出量	1600.0 t	6.4 t	1.2 t	60.0 t
		(今後実施する予定の取組)				

別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物
	排出量	1.6 t	0.8 t	153.0 t	27.6 t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物
	排出量	1.6 t	0.8 t	153.0 t	27.6 t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量				
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量				
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量				
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量				
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量				
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量				
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	ガラス・コン陶磁器屑	木屑
	全処理委託量	1600.0 t	6.4 t	1.2 t	60.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量	1600.0 t	6.4 t	1.2 t	60.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				
	(これまでに実施した取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物
	全処理委託量	1.6 t	0.8 t	153.0 t	27.6 t
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量	1.6 t	0.8 t	153.0 t	27.6 t
	認定熱回収業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				
	(これまでに実施した取組)				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	ガラス・コン陶磁器屑	木屑
	全処理委託量	1600.0 t	6.4 t	1.2 t	60.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量	1600.0 t	6.4 t	1.2 t	60.0 t
	認定熱回収業者への処 理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				
	(今後実施する予定の取組)				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	繊維くず	がれき類
	全処理委託量	1.6 t	0.8 t	153.0 t	27.6 t
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量	1.6 t	0.8 t	153.0 t	27.6 t
	認定熱回収業者への処 理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				
	(今後実施する予定の取組)				